



TSD

THERAPEUTIC SOLUTIONS DIVISION

治療機器事業

治療機器事業は、医療分野における革新的な技術と製造技術で医療従事者の皆さまと共に歩んでまいりました。診断そして低侵襲治療において、より良い臨床結果を生み、医療経済にベネフィットをもたらし、世界の人々の健康やQOL向上に貢献してまいります。ポリープ切除用のスネア開発に始まり、外科用デバイスの開発や処置具のラインアップ拡充などを経て、さまざまな製品が疾患の予防、診断、治療に役立っています。

治療機器事業(TSD)の特長

01 | 3つの治療領域(消化器科・泌尿器科・呼吸器科)への注力



消化器科



泌尿器科



呼吸器科

- ▶ 治療機器事業では複数の臨床専門分野にまたがり、低侵襲治療に貢献。その中でも、特に消化器科・泌尿器科・呼吸器科のカテゴリーでの製品拡充を強化

02 | グローバル事業統括機能を米国に配置・確立

- ▶ 世界最大の治療機器市場である、米国の医療クラスターおよび最大の顧客へのアクセスを強化

03 | 事業開発機能の強化・確立により、社外パートナーとの協働やライセンス、M&Aを通じて、製品ポートフォリオの拡充・補完を推進

- ▶ 消化器科・泌尿器科・呼吸器科を中心に複数のM&Aを実施

各領域における市場規模および成長率見通し

消化器科処置具



3,500億
〜
4,500億円

年平均成長率 5-7%

泌尿器科



4,000億
〜
5,000億円

年平均成長率 5-7%

呼吸器科



1,000億
〜
1,500億円

年平均成長率 6-7%

※本ページに掲載されている対象市場規模と成長率予測は当社調べによるもので、米国、欧州主要5カ国(ドイツ、英国、イタリア、フランス、スペイン)、日本、中国に関するものです。市場規模は2023年3月31日時点のものです。成長率予測は、2023年3月期度を起点とした、2024年3月期から2026年3月期までの予想です。

01 | 3つの治療領域(消化器科・泌尿器科・呼吸器科)への注力

治療機器事業で注力する領域

治療機器事業では、当社が高い競争力を有する領域に注力していきます。

消化器科、泌尿器科、呼吸器科の領域においては、製品ポートフォリオ拡充のための投資や、高度な新治療技術の普及、グローバルな販売チャネルの活用等によって、成長の拡大を図ってまいります。

消化器科処置具



治療機器事業(TSD)
売上高の約30%

泌尿器科



治療機器事業(TSD)
売上高の約35%

呼吸器科



治療機器事業(TSD)
売上高の約15%

※治療機器事業内のサブセグメントの売上比率は2023年3月期の数値です。

消化器科



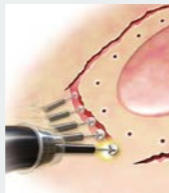
事業領域

1 止血



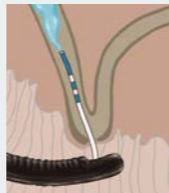
止血クリップ

2 ESD*2&EMR*3



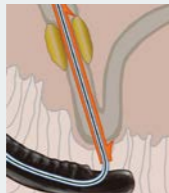
切開剥離デバイス

3 ERCP*1



ERCPデバイス

4 狭窄解除



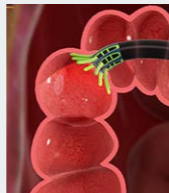
ステント

5 組織採取



生検鉗子

6 内視鏡周辺デバイス



大腸内視鏡先端アタッチメント

成長につながる競争力

一桁台後半の年平均成長率
(2024年3月期~2026年3月期)

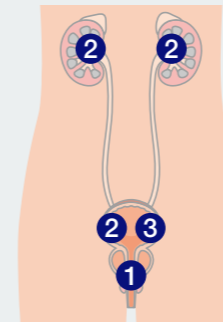
- 内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)/内視鏡的粘膜切除術(EMR)、ENDOCUFF VISION*4、EndoClot*4等の製品群において二桁成長を達成
- 買収による幅広いラインアップを獲得し、メタリックステントのポートフォリオを強化。胆道や食道、大腸、十二指腸治療における選択肢を拡大し、**当社のグローバルポジションを急速に強化していく**

▶ 当領域における、主な病気、手技と使用される製品はP24~30へ

泌尿器科



事業領域



1 前立腺肥大症の治療



前立腺肥大症
低侵襲治療デバイス*4

2 尿路結石の治療



ツリウムファイバー
レーザー装置*4

3 膀胱腫瘍(膀胱がん)の診断



レセクトスコープ

成長につながる競争力

一桁台後半の年平均成長率
(2024年3月期~2026年3月期)

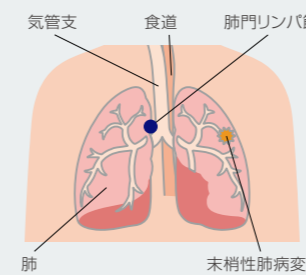
- シングルユース尿管鏡により、医師の選択肢を拡大
- レーザー/超音波結石破碎装置でシェア拡大
- 成長ドライバーの一つであるPLASMA+ Technologyシステムは**堅調な成長を継続**
- 差別化された前立腺肥大症低侵襲治療デバイスによって優れた臨床成果を提供し、**保険適用を拡大し、医療水準の向上に貢献*5**

▶ 当領域における、主な病気、手技と使用される製品はP31~32へ

呼吸器科



事業領域



1 超音波気管支鏡ガイド下針生検(EBUS-TBNA)



EBUS-TBNAシステム

2 気管支鏡検査による診断と治療



気管支内バルブシステム*4

成長につながる競争力

一桁台半ばの年平均成長率
(2024年3月期~2026年3月期)

- EVIS X1気管支鏡と内視鏡用超音波観測装置EU-ME3を**今後の成長ドライバーとして期待**
- 気管支鏡検査および肺がんの診断とステージ分類において、**患者さんのアウトカムを最適化する有意義な技術革新を提供することに尽力**

▶ 当領域における、主な病気、手技と使用される製品はP32~33へ

*1 Endoscopic Retrograde Cholangiopancreatography:内視鏡的逆行性胆膵管造影術

*2 Endoscopic Submucosal Dissection:内視鏡的粘膜下層剥離術

*3 Endoscopic Mucosal Resection:内視鏡的粘膜切除術

*4 2023年9月末時点で医薬品医療機器等法未承認品です

*5 iTindlによる治療は、永久的インプラントが不要で、性機能や排尿機能が維持でき、術後のカテーテル留置の必要性も低減。外来治療にも対応

02

グローバル事業統括機能を米国に配置・確立

当社は、治療機器事業のグローバル事業統括機能を米国に配置しています。米国は世界最大の治療機器市場であり、当事業の中でも最も売上高が高い市場です。

また、豊富な病院・研究機関・競合企業、そして最大の顧客へのアクセスが可能であることから、米国にてグローバルな意思決定を行っています。



米国にある治療機器事業の
グローバル事業統括拠点

03

事業開発機能の強化・確立により、社外パートナーとの協働やライセンス、M&Aを通じて、製品ポートフォリオの拡充・補完を推進

米国にグローバル事業統括機能を置いたことにより、社外パートナーとの協働やライセンス、M&Aを通じた、製品ポートフォリオの拡充・補完を効率的かつスピーディーに推進できるようになりました。

2020年8月には英国医療機器メーカーArc Medical Design社、2021年5月にはイスラエルの医療機器メーカーMedi-Tate社を買収し、ポートフォリオを拡充しています。

今後も低侵襲治療の貢献に寄与するべく、自社開発のみならず、社外パートナーとの協働やライセンス等も検討し、成長を加速してまいります。

M&A

Arc Medical Design

2020年8月、英国医療機器メーカーArc Medical Design社を買収し、消化器科のポートフォリオを拡充。

代表製品：ENDOCUFF VISION*1

大腸内視鏡の先端に取り付ける機器で、フレキシブルアームが大腸のひだを掻き分け、粘膜を固定することで、大腸内視鏡検査や内視鏡的ポリープ切除術などにおける視認性の維持に貢献するように設計されています

Medi-Tate

2021年5月、イスラエルの医療機器メーカーMedi-Tate社を買収し、泌尿器科のポートフォリオを拡充。

代表製品：iTind*1

前立腺肥大症治療のための低侵襲治療デバイス。診療所やクリニックでの日帰り治療が可能であり、患者さんにとっては永久留置物がなく、再治療法の選択肢が幅広いことが特長です

*1 2023年9月末時点で医薬品医療機器等法未承認品です